

【出席率】 会員61名中46名
【ビジター】
三条RCより 成田秀雄君
三条RACより 木口裕司君 中野直人君

【先々週の出席率】 94.74%

【先週のメイクアップ】

3/24 地区協議会分科会打合せ会議へ
安達 裕君 荒澤威彦君 馬場信彦君
長谷川晴生君 星野健司君 木原 崇君
松崎孝史君 丸山征夫君 葦澤喜一郎君
野崎正明君 佐々木常行君 佐藤嘉男君
鈴木 武君 谷 晴夫君 田代徳太郎君
3/27 地区協議会分科会打合せ会議へ
馬場信彦君 馬場一敏君 長谷川晴生君
星野健司君 葦澤喜一郎君 野崎正明君
岡村一男君 佐々木常行君 佐藤秀夫君
鈴木 武君 田代徳太郎君 若井 博君
4/2 巻RCへ 大久保秀男君 鈴木武君
4/3 燕RCへ 大久保秀男君 鈴木武君
4/3 地区クラブ奉仕委員会(馬場G)へ
天田 匡君 長谷川晴生君 西巻克郎君



会長挨拶

坂本 洋司 会長



ご挨拶を申し上げます。
愈々、寒さも衰え、待ち望んでいた春の到来です。
先週は、当社の役員会が変更できず、年度初めのために各部門の会議が行われ、欠席致しました。吉井会長エレクトには、代理ご挨拶をお願い致し大変恐縮しております。

さて、去る3月31日に次期会長吉井年度の幹部会が開催されまして、運営方針・組織・予算が次年度の幹部会で承認され、船出致しました。本来なら、私年度も第3コーナーを回り、最後の直線に差し掛かり喜びを露にしておるところですが、今年度はそうも行かず、馬場ガバナーエレクト主催の三大事業の内、一つ「PETS」は終了致しましたが、二つ目の地区協議会が5月17日、そして、我がクラブの創立40周年記念式典が6月14日と控えておりまして、気が抜けない状態でございます。皆様方におかれましては同様かと思いますが、ここは全会員が心を一つにしてビックイベントを成功に導くようにご支援、ご協力をお願い致します。私も益々気持ちを引き締めて最後のスパートをかけたいと思っております。

さて、今日は桜の季節になりました、そこで少しお話をしてみたいと思います。桜の開花も予想されておりますが、新潟県でも日本三大夜桜の一つと言われておる所がございます。ご存知でしょうか。高田公園の夜桜だそうです。今年の観桜会は、4日～20日迄だそうです。83回目になるそうです。夜には、ソメイヨシノと高田城が300個のボンボリでライトアップされ幻想的な光景とのこと。上越市の中心部にある高田公園の桜の木は、1909(明治42)年に第13師団の入城を記念して在郷軍人が城跡に2200本を植樹したことが始まりで、現在では、50ヘクタールの公園とその周辺に約4000本が植えられ



国際ロータリー会長
ウィルフレッドJ. ウィルキンソン [カナダ]
第2560地区ガバナー 渡辺 敏彦 [新潟南]
第4分区分AG 藤井 三明 [分水]
会 長 坂本 洋司
幹 事 船久保孝志
S A A 大 溪 秀 夫

事務局
〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内
☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL <http://www.sanjo-minami.jp>

ておると言われております。ライトアップは日没から 11 時までだそうです。是非ご家族でお出かけいただきますことをお勧め申し上げます。

ちなみに、今年の高田公園の開花予想は 8 日とのこと、今が一番の見ごろかと思えます。

4 月は「雑誌月間」です。月間に際しまして丸田委員長から卓話がございます。宜しくお願い致します。

幹事報告

船久保 孝志 副幹事

● 渡辺ガバナー事務所より ロータリー「山の会」のご案内

日時 6月14日(土)・15日(日)
登山 大蔵山～菅名岳
参加費 10,000円
集合場所 清廣館(出湯温泉)



～ 4月 7日 18,000円 今年度累計 812,000円 ～

- 三条RC お世話になります。本日は、ローターアクト会員増強のお願いに参りました。
成田君 よろしくお願ひ致します。
- 坂本君 ○春の陽気が増して来たとはいえ、未だ天候不順が続いております。お身体には十分にお気をつけ下さい。
○今日は「雑誌月間」です。丸田委員長宜しくお願ひ致します。
- 船久保君 丸田さん、卓話宜しくお願ひ致します。昨日はまたゴルフ優勝おめでとうございます。
丸田君 昨日の同門会ゴルフコンペに優勝(久しぶり)。BOXに協力
吉井君 いろいろと次年度の準備が始まってきました。何かとお世話になるばかりですが、よろしくお願ひ致します。
- 武藤君 昨日はお天気の下、春の海を見に半日車で走って参りました。
木原君 丸田さん、ご苦労様です。
- 佐藤(秀)君 早退させていただきます。BOXに協力
安達君、大溪君、草野君、田代君、田中(悌)君、銅冶君、馬場(一)君、渡邊(光)君
BOXに協力致します。
- 滝口君 春らしくなり、三条も桜が2,3日中に咲くようです。BOXご協力に感謝致します。

雑誌月間



ロータリーの友紹介 08.4月号

丸田肇一雑誌委員長

横組み

■ P1 RI 指定記事

「RI 会長メッセージ 私たちの前に横たわる課題」

- ・危機や緊急事態が存在する時、ロータリーはそこにあります。
- ・私たちの進む道には、大きな問題がひそんでいます。
- ・そしてこれから数年のうちに私たちの目の前に現れてくるのです。

■ P5 特集 雑誌月間 ロータリーの雑誌は大切な情報源

「雑誌月間」にちなんで、さまざまな角度から、ロータリーの雑誌を紹介しています。

■ P6-7 ロータリー雑誌の仲間たち『Rotary World Magazine Press』

『THE ROTARIAN』と地域雑誌の紹介、31の地域雑誌を写真で紹介しています。

■ P8-11 個性派ぞろいのロータリー地域雑誌

ロータリーの地域雑誌は創刊年や発行部数など、かなり違ってきます。

編集方針も、雑誌が発行されている地域の文化やロータリーの背景によって、かなり異なっています。

その中から、5つの地域雑誌の編集長に、それぞれの雑誌について紹介されております。

■ P17-19 『ロータリーの友』の歩み

『ロータリーの友』は1953年1月に創刊しました。創刊から、今日までの歩みを紹介しています。昔の『友』の表紙の写真とともに紹介されております。

■ P30-31 新樹の声 私のチャレンジ……

8月号から始まった新企画で、入会3年未満の方の意見を伺う「新樹（しんじゅ）の声」。今回は「ロータリーで挑戦したいこと」です。

■ P32-33 よねやまだより “支援対象者の拡大と学友会の誕生”

バブル景気に沸いた1980年代。この時代の米山奨学事業を特徴づける3つの出来事を紹介しています。

1. 非ロータリー所在国の留学生へ門戸を開いた事。
2. 元米山奨学生たちの学友会が出来た事。
3. “よねやま”の国際貢献が国際ロータリー会長から称賛された事。

縦組み

■ P2-6 昭和44年夏の甲子園で、三沢高校が決勝で松山商業と延長18回0対0引き分け、再試合は2対4で敗れ準優勝、この時三沢高校のピッチャー太田幸司さんの「夢への挑戦・私の野球人生」が載っております。

■ P7-11 くらぶ探訪 手に手

美しい島の不思議なクラブ、第2580地区（東京都・沖縄県）会員数7人の久米島ロータリークラブが紹介されております。

■ P12-13 卓話の泉

- ・眼の病気の話：札幌の眼科医、日常の診療でよく遭遇する、代表的な眼の病気の話。
- ・日なた好きのコケ：コケのルーツは、約4億年前水中で植物の1部が、陸上に進出した事が始まりである。
- ・わが家の耐震：木造建築の耐震について、建物の損傷の差は「建物の中に壁がどれだけ入っているか」で決まる。

■ P31 表紙のメッセージ

- ・縦組みの表紙、長野県伊那山地、美和湖のほとりに黄金色にかがやきわたる「しだれ柳」と、横組みの表紙、秩父清雲寺、幻夢の世界にいざなうような「しだれ桜」の解説。

以上、ロータリーの友4月号の紹介です。

ロータリー雑誌とは



31の地域雑誌と『THE ROTARIAN』を総称して『ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS』といいます。各地域雑誌では、その発行地域のロータリークラブやロータリアンの活動を紹介するとともに、『THE ROTARIAN』から指定される記事を、その地域で使われる言語に翻訳して掲載しています。記事だけでなく、表紙にも、そのお国柄が表れています。ロータリーの機関紙は1911年(明44)1月25日に創刊された『THE NATIONAL ROTARIAN』（『THE ROTARIAN』の前身）です。その日を記念して1月25日を含む1週間を雑誌週間としていましたが、1978(昭53)年度から雑誌週間は4月に移され、1983(昭58)年度に特別月間として4月がロータリー雑誌月間に指定され、それが現在まで続けられています。

■ 日本の地域雑誌「ロータリーの友」の推移、概要について

『THE NATIONAL ROTARIAN』発刊から約40年後の1952年(昭27)4月に大阪市で開かれた地区大会で、次年度から日本が二つの地区に分割されることが決まっており、連絡を緊密にする為の、共通の機関紙の創刊が企画され、1952年(昭27)8月岐阜で開催された第2回準備会で名称は『ロータリーの友』、横書きで創刊は1953年(昭28)1月とする等、骨子が決まり、これが『ロータリーの友』の始まりです。創刊当初は定価は100円、その後1975年(昭50)から200円となり現在まで続いています。

ちなみに創刊当初は横書きで始まりましたが、その後縦書き、横書き混在となり、1972年(昭47)1月から現在の縦組みと横組みに分けた形になりました。

『友』はロータリー地域雑誌です。

ロータリーの正会員はRIの機関雑誌（『THE ROTARIAN』）または地域雑誌（RI理事会承認）の有料購読者となり、会員である限り購読を続けることが条件となっています。

『ロータリーの友』は1980年(昭55)7月号より日本のロータリーのための公式地域雑誌としてRI理事会より指定されました。地域雑誌の条件として、編集内容はRIの方針に合致し、50%以上はロータリーと関連する記事でなければならないとあります。

『ロータリーの友』には「横組み」のRI会長メッセージや特集記事、「縦組み」のロータリー・アットワ

ークなどロータリーの情報誌で、世界や日本のロータリーの状況や活動などの情報が満載で、ロータリアンの思いを共有し分かちあう場があります。

■本年度より新しくなったコーナー

1. 「新樹の声 新しい出会い」8月号から始まった新企画です。このコーナーでは、毎月テーマを決め、入会3年未満の会員の意見や体験談を掲載します。
2. 「クラブ探訪 手に手」好評をいただきました「風紋」に代わって、今年度からスタートした新企画です。クラブにスポットを当てました。
3. 「表紙のメッセージ」2006年8月号からロータリアンの写真が表紙に登場しました。

■雑誌とWEBふたつのロータリーの友

ウェブは速報性を生かしていち早く情報を得られること。ホームページにはロータリアン以外の人々も参加していること。雑誌の『友』はいつでもどこでも読むことができること。国際的に知名度の高いTOMOを利用して日本の情報を世界に発信していること。

■ロータリーの友を読む2つの目的

1. ロータリーの雑誌がなければ世界のロータリーの活動を知ることはできません。
もし自分のクラブを通してしかロータリーを知ることができなければ、ロータリーが真に国際的であることを認識することによってもたらされる多くの感動や満足感を味わうことはありません。
ロータリーの雑誌には、新しい奉仕活動の事例が詰まっています。
2. 雑誌を読むもうひとつの理由は、クラブの自治に関係があります。
もし、私たちが自分たちのクラブだけにしか目を向けていないとしたら、いとも簡単に居心地のよさに陥って、以前に実施したことの有るやり易い奉仕活動を繰り返すだけになってしまいます。
これでは会員にとって、奉仕活動が面白いものでなくなり、地域社会が何を求めているかさえ、よく分からなく成ってしまうでしょう。

■ロータリーの雑誌から世界を見る

どれだけ長い間ロータリアンであったとしても、私たちはロータリーの雑誌を読む必要があるのです。新会員にとっては教材となり示唆に富むものです。
熟練したロータリアンたちには自分たちがなぜロータリアンであるのかを思い出させてくれます。
ロータリー雑誌は楽しみとアイデアの源としてお読み下さい。
そうすれば、あなたのクラブは有意義な楽しいものになるでしょう。
ロータリー雑誌があなたにお届けする、並び称されるもののない、国際組織の一員として、誇りを保つために読んでいただきたいのです。

■国際ロータリーの新しいWEB

国際ロータリー（RI）は昨年10月8日から、新しいウェブサイトを開始させました。今後の拡大に備え、データセンターの性能を著しく高めることが目的です。
「より合理的に使いやすくなったナビゲーション」「ロータリー関連の画像ライブラリ」「読みやすい『クラブの例会場』検索」「改善された検索機能」などを中心に、さらに見やすく内容豊かに変更されました。

■「友」と「ウェブ」を活用してください

『ロータリー雑誌月間』、この機会に『ロータリーの友』をもう一度開いてお読み下さい。そして、新しくなったウェブサイトもご覧下さい。新たな発見がきっと得られます。
ぜひ『ロータリーの友』へ投稿していただき、ロータリー情報を発信し、分かちあって下さい。ロータリー・ジャパンのホームページからも投稿いただけます。
「ロータリーの友」を愛読し、大いにロータリーの理解を深めて下さい。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実か どうか

III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か

IV みんなのためになるか どうか